

## 「学校の森」取組み内容についてのアンケート回答用紙

学校名	※都道府県から記載ください 大阪府和泉市立南横山小学校
担当者名	森井 光昭

### 1、定期的に活用している森の有無

有り、  無し

### 2、1が有りの場合の森の所在地

- 1) 学校敷地内／隣接地、  2) 徒歩 30 分以内、  
 3) 徒歩圏外

(自転車 30 分以内、車 10 分以内、車 30 分以内、車 30 分超)

### 3、権利関係

- 1) 学校所有  
2) 分収造林契約 (契約期間: )  
3) 悠々の森協定を締結して国有林を活用  
 4) 県／市町村／財産区有林を活用 (活用の根拠契約  有り /  無し /  不明 )  
5) 私有林を活用 (森林整備義務を伴う契約締結、その他、不明)  
6) 公共の施設を使用 (具体的には、 )  
7) 不明  
8) その他 ( )

### 4、取組期間

- 1) 震災前から (開始時期 西暦 1969 年)  
2) 震災後から (開始時期 西暦 年)

### 5、授業時間か否か

- 1) 授業時間 (  通常の授業、  校外学習 )  
2) 授業時間以外 (  休み時間、  放課後、  休日 )

【以下授業で活用している学校への質問】

6-1、授業科目（重複あり）

総合学習、生活、理科、社会、国語、道徳、図工、  
その他（ ）

7-1、各学年の年間授業時間数

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
10	10	10	10	10	15	65

8-1、実施する季節（重複あり）

- 1) 春、夏、秋、冬
- 2) 学年による（全学年で活用 ）
- 3) 年一回、年複数回

9-1、授業で森を活用する視点について

- 1) 知識ではなく体験で初めて得られることに意義  
具体的には、（ 実物に触れる、季節を感じる ）
- 2) 総合学習のテーマとして森の活用が相応しいと判断  
具体的には、（ 伝統の林業を学ぶ、環境教育 ）
- 3) 総合学習以外にも学習効果が得られる科目がある  
具体的には、（ 理科、生活科の自然を学ぶ ）
- 4) その他（ ）

10-1、実施プログラムの内容／視点

- 1) 震災を受けて防災・減災の視点を含めている、いない
- 2) 実施プログラムの計画書等がある、ない  
ある場合はコピーを同封して下さい。

【以下授業外で活用している学校への質問】

6-2、授業での活用を行っていない理由

- 1) 森での活動を授業に取り込む必要を特段感じていない、
- 2) 森での活動を授業に取り込みたいが現時点では障害がある
- 3) その他 ( )

7-2、6-2で2)と回答した学校へ 授業で活用する上での障害について

- 1) 各教科で習得すべき単元数が増加し、余裕が無い
- 2) 総合学習に相応しいテーマが森の活用以外に別にある
- 3) 森はあるが整備されていないので利用できない
- 4) 先生だけでは指導ができず、外部の指導者もいない
- 5) 森の整備にはお金がかかるので、継続して活用することが困難
- 6) その他 ( )

【以下全ての学校への質問】

11、指導者(重複あり)

- 1) 教師のみ
- 2) NPO等の学外団体
- 3) 教師と学外団体の協同
- 4) その他 ( )

12、学校以外の運営指導協力者がおられる場合

具体的には( 自然観察クラブ(動植物の名称等の指導を依頼) )

13、年間運営経費(数年に一度の森林整備費用は除く)

- 1) なし
- 2) 1万円未満
- 3) 1万円以上
- 4) 3万円以上
- 5) 5万円以上
- 6) 10万円以上(具体的には、 万円)

14、運営経費の支出先

- 1) 指導者謝礼
- 2) 歩道刈り払い等の毎年発生する森林整備の外注費用
- 3) 樹名板等の林内設置物の費用
- 4) 児童/生徒の森までの往復交通費
- 5) その他 ( )

15、運営経費の捻出

- 1) 学校運営費で賄う
- 2) 義援金からの補助と児童の家庭から集金
- 3) PTAの寄付
- 4) 市の予算
- 5) その他 ( )

16、数年一度の大規模な森林整備費用

- 1) 発生する、発生しない  
各々の理由 ( )
- 2) 発生する場合の金額 ( 万円 )
- 3) その資金捻出 (具体的には、 )

17、必要な道具(重複あり)

- 1) なし
- 2) 森林整備に使う道具
- 3) 軍手
- 4) 長靴
- 5) ノコギリ、鎌
- 6) 木工関係の道具
- 7) 観察板・虫取り網・飼育ケース
- 8) その他 ( )

18、17の道具の調達

- 1) 学校で購入
- 2) 外部からの寄付
- 3) 各自家庭から持参
- 4) NPOからの借り入れ
- 5) その他 ( )

19、昨年度の活動と今年度の活動比較

- 1) 昨年度より進化  
具体的には ( )
- 2) 昨年度より後退  
具体的には ( )
- 3) 昨年度と変わらない
- 4) 今年度から開始
- 5) 昨年度のことは判らない
- 6) その他 ( )

## 20、来年度の活動についての展望

1) 今年度より進化させたい

具体的には ( )

2) 今年度より後退する危惧あり

具体的には ( )

3) 異動もあり来年度のことは判らない

4) その他 ( )

## 21、活動継続に向けた対応

1) 特に必要性を感じない

2) 必要性は感じるが対応は出来ていない

3) 一定対応している

具体的には、NPOに協力依頼

① PTA を応援団に育成／学校評価での実績づくり

② 転入してきた先生を活動の推進役に育成

③ 学外の運営協力者／団体を学校経営にも参画させている

④ 教育委員会を応援団に育成／学校評価での実績づくり

⑤ 森の活用校で連携して活動の成果を普遍的なものにする

⑥ その他 ( )

## 22、活動中止の危機の有無

有り、無し

ありの場合以下のどの背景か？

1) 所有者との関係で森の使用が出来なくなる

2) 森の整備の担い手がいなくなって藪に戻ってしまう

3) 森の活動で事故が起きて安全管理面での問題を指摘される

4) 教室内での授業時間増加の要請／学力低下

5) その他 ( )

23、活動中止の要因として考えられること

①特に無し、想定できる

想定できる場合以下のどの背景か？

- 1) 校長交代
- 2) PTA 会長交代
- 3) 指導役の先生の異動
- 4) 協力団体の中断
- 5) 教育委員会の方針変更
- 6) 森の所有者との関係悪化
- 7) その他 ( )

24、フィールドの地域開放

- 1) 学校だけで使用
- 2) 地域の人々が森林整備にも協力しており開放している
- 3) 現在公共施設を学校の森として活用している
- 4) 地域の防災拠点でもあり、開放している
- ⑤その他 ( ????? )

25、森の活用についての P T A の関わり

- ①) 全面賛成
- 2) 具体的に森の活動について見守りでボランティア協力
- 3) 具体的に森の整備に協力
- 4) その他 ( )
- 5) PTA は無関心

26、P T A に協力を得ている場合の具体記述

階段等の補修、下草刈り、ペンキ塗り、炭焼きの原木伐採、植樹など

27、重視していること(重複あり)

- 1) 木の名前を知ること森に興味を持つこと
- 2) 自然の中で伸び伸びと過ごすこと
- 3) 生態系のつながりの理解
- 4) 自然は脅威にもなれば人間を守ってくれることの理解
- 5) 森の中で仲間と助け合うこと
- 6) 震災後の子どもたちの心のケア
- 7) 防災や減災意識の高揚
- 8) その他 ( )

28、困っていること(重複あり)

- 1) なし
- 2) フィールドが遠い
- 3) フィールドが整備されていない
- 4) 登る際の傾斜が急である
- 5) 指導者の協力が継続できるかどうか
- 6) その他 ( )

29、自由記入欄

--

以上アンケートに回答頂き有り難うございました。